

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公表番号】特表2008-502624(P2008-502624A)

【公表日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-004

【出願番号】特願2007-515837(P2007-515837)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/64 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/64

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 5/00

C 0 7 K 7/06 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化粧品および/または医薬品を製造するための、または化粧期間中に、内因性または外因性皮膚劣化に対して皮膚および人毛を処置するための、または劣化した外観を防止するための、構造式：

R 1 - N H - A A - R 2

〔式中、R 1 は、- H、または- O H、- S H、- C O O Hまたは- C O N H<sub>2</sub> 基によって官能化されていてもよい 1 ~ 2 4 個の炭素原子を有する直鎖状飽和もしくは不飽和アシル基または分枝状飽和もしくは不飽和アシル基、または官能基によって該ペプチドと結合したステロール基によって形成される群から選択され、

R 2 は、- O Hであるか、または該 O H 基は、1 ~ 2 4 個の炭素原子を有する直鎖状飽和もしくは不飽和アルキル基または分枝状飽和もしくは不飽和アルキル基、またはステロール基によって官能化されており、および

A A は、P T H 領域( 2 8 ~ 3 4 ) に対応する配列表の配列番号 1 のアミノ酸配列に完全にまたは部分的に対応する〕

で示される副甲状腺ホルモンのペプチド断片および/またはペプチド断片の誘導体および/またはペプチド断片の塩の使用。

【請求項 2】

A A は、配列表の配列番号 1 の 2 ~ 5 位に対応する P T H 領域( 2 9 ~ 3 2 ) G l n - A s p - V a l - H i s、または p G l u - A s p - V a l - H i s を含んでなる、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

H i s は、L e u、I l e、N l e (ノルロイシン)、M e t、V a l、A l a、T r p または P h e を含んでなる群から選択されるアミノ酸で置換することができる、請求項 1

または 2 に記載の使用。

【請求項 4】

式中、R 1 は、H またはアセチル基を示し、R 2 は OH であることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の使用。

【請求項 5】

ペプチド断片は、化学的または酵素的合成によって、または微生物、植物または動物の上記配列を含有する天然タンパク質の制御加水分解によって得られることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の使用。

【請求項 6】

しわの形成と闘うのに、またはしわの後に残される痕跡を低減するのに、または真皮および / または真皮 / 表皮接合 (D E J) を強化するのに、または皮下組織のセルライトの現象を低減するのに、または癒しを促進するのに、またはヒト皮膚の (老化または外性因子による) 劣化によりもたらされる細胞数の低減と闘うのに、または毛細血管の再生を刺激および / または再生して毛髪の脱落と闘うのに有効な調製物を製造するための、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の使用。

【請求項 7】

T G F 1 タンパク質 (形質転換増殖因子) および / または T G F 1 に対して生物学的応答を引き起こす細胞表面に存在する受容体の製造を刺激するのに、または m R N A および母体タンパク質の製造を刺激するのに、または炎症と闘うのに有効な調製物を製造するための、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の使用。

【請求項 8】

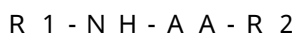
m R N A および / またはタンパク質の製造を調節するのに、またはマトリックスを分解するタンパク質を制御するのに、および / または T I M P を制御するのに有効な調製物を製造するための、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の使用。

【請求項 9】

ペプチド断片またはペプチド断片の誘導体またはペプチド断片の塩を、0.01 ~ 1000 ppm の濃度で使用することを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の使用。

【請求項 10】

構造式：



〔式中、R 1 は、-H、または-OH、-SH、-COOH または-CONH<sub>2</sub> 基によって官能化されていてもよい 1 ~ 24 個の炭素原子を有する直鎖状飽和もしくは不飽和アシル基または分枝状飽和もしくは不飽和アシル基、または官能基によって該ペプチドと結合したステロール基によって形成される群から選択され、

R 2 は、-OH であるか、または該 OH 基は、1 ~ 24 個の炭素原子を有する直鎖状飽和もしくは不飽和アルキル基または分枝状飽和もしくは不飽和アルキル基、またはステロール基によって官能化されており、および

AA は、PTH 領域 (28 ~ 34) の配列表の配列番号 1 のアミノ酸配列に完全にまたは部分的に対応し、

ただし、R 2 が-OH とは異なる場合のみ、R 1 は H であり、または R 2 が OH である場合、R 1 は H とは異なる〕

で示される副甲状腺ホルモンのペプチド断片の誘導体を含有する化粧品。

【請求項 11】

AA は、配列表の配列番号 1 の 2 ~ 5 位に対応する PTH 領域 (29 ~ 32) Gl n - A s p - V a l - H i s、または p G l u - A s p - V a l - H i s を含んでなる、請求項 10 に記載の化粧品。

【請求項 12】

H i s は、L e u、I l e、N l e (ノルロイシン)、M e t、V a l、A l a、T r p または P h e を含んでなる群から選択されるアミノ酸で置換することができる、請求項 10 または 11 に記載の化粧品。

**【請求項 13】**

ペプチド断片は、化学的または酵素的合成によって、または微生物、植物または動物の上記配列を含有する天然タンパク質の制御加水分解によって得られることを特徴とする、請求項 10～12 のいずれかに記載の化粧品。